

事業名	ビバホールステージオペレーター養成講座
事業の特徴	市立ホールの市民運営オペレーターの養成講座（オペレーターとして必要な知識技術（舞台・照明・音響・アナウンス）の習得を目的とした養成講座）

実施機関名	養父市教育委員会社会教育課（養父市立養父公民館）
連絡先	〒667-0198 兵庫県養父市広谷250-1 TEL 079-664-1628 FAX 079-664-1758 URL http://www.fureai-net.tv/yabusikyoui/
事業規模	市区町村
事業主体	社会教育施設
事業のテーマ分野	文化振興（芸術文化）

1 事業の概要

養父市立ビバホールは、平成2年開館当初より「ミュージックファーム（音楽農場）」を運営方針としてきた。これは、ホールを開かれた文化創造の場として位置付け、文化を担い、支える人づくりを進める場としていこうというものであり、ホール職員を置かず、運営はすべて市民の手にゆだねてきた。このため、ビバホールのステージオペレーターとして必要な知識・技術（舞台・照明・音響・アナウンス）の基礎的な習得と、ホール機材を使用する許可を与えるためにオペレーター養成講座を開催する。



オペレーター養成講座 音響操作卓



オペレーター養成講座 照明機材

2 事業の趣旨、目的

養父市立ビバホールは、平成2年開館当初より「ミュージックファーム（音楽農場）」を運営方針としてきた。これは、ホールを開かれた文化創造の場として位置付け、自らが優れた音楽やその他の芸能を鑑賞する機会を作り出す場であり、同時に、芸能そのものを自ら創造し、上演する場でもあると位置付ける。更に重要なことは、そうした文化を担い、支える人づくりを進める場でもあることである。「開かれた」という意味は、この取り組みを養父市という枠に限ってしまふのではなく、市域、県域、国境も超えて、相互交流による文化振興を図ろうという意図も含まれている。

この運営方針に基づき、ホール職員を置かず、運営はすべて市民の手にゆだねてきた。「ビバホール企画集団」は、ホール主催事業の企画から運営、出演者との交渉からチケット販売、当日の出演者の接待、受付もぎりからお客さんの誘導にいたるまでを担う。「ビバホールステージオペレータークラブ」は、舞台・照明・音響・アナウンスの技術者としてホールの催し物すべてに関わり、主催者との打ち合わせからホールの仕込み、当日のホール運営、終演後の片付けに至るまでを担う。ビバホールステージオペレーターは、ホールの専用機材を操作する技術とともに、演出能力、安全管理能力も必要とされるので、基礎的な技術の習得とホール機材を使用する許可を与えるために「ビバホールステージオペレーター養成講座」を開催している。本講座は文化の担い手づくりの一環として実施し、この講座で学んだ人が、ビバホールだけでなく広く地域の文化事業の担い手となり、その質的向上を図る人材となってもらうことを期待している。

3 事業の内容

(1) 学習の内容

オペレーター養成講座

オペレーター養成講座は、ビバホールステージオペレータークラブの会員を講師として、全8回にわたりホールオペレーターとして必要な知識・技術の習得を目指す。

学習テーマ

- ①舞台芸術における舞台、照明、音響等の果たす役割の理解
- ②舞台、照明、音響機械の操作方法の習得
- ③演出技術の基礎の習得
- ④舞台は、舞台監督的な役割も兼ねるので、ステージづくり全体の理解
- ⑤アナウンスは、司会という仕事の総理解と正しい発声を身につける

講師陣は、ビバホールステージオペレータークラブの会員が担い、20代の若者から経験豊富な60代の方まで、職種も会社員、銀行員、大工、農業、保育士、主婦等バラエティに富み、和気あいあいとした雰囲気の中で進められている。また、講師として人に教える立場になり、会員自らがより深く学習する場ともなっている。

ステージオペレーター募集!

新しい夢をビバホールで見つけよう!

舞台部・・・特殊効果や布景物造り、ステージ設定、舞台監督 etc
演者と一緒に面白いホーションです!

照明部・・・色鮮やかなライトとフラッシュ。発展などを駆使して、..
赤花のセンスでステージに色をつけましょう!

音響部・・・本格的な音響機器の操作がカッコイイ!
CD・MDの操作にも詳しくなれてプライベートでも大助かり!

アナウンス部・・・社会でも役立つ発声法を身につけよう!
主担任事はホール内での話注意アナウンス
開催したいでナレーションや司会もできるようになります!

※年齢制限・・・18歳以上高校生以下不可で、応募者! 上級生ありせん!
※地域制限もありません! 現住地和歌山、豊後、竹野からでも来て下さい!

お問い合わせは事務局(養父市民館) ☎079-664-1141
〒679-0001 和歌山県東牟婁郡養父市

受講生を募集しています

平成21年度ビバホールステージオペレーター養成講座

養父市立養父公民館では、ビバホールステージオペレーター養成講座の受講生を募集しています。

ビバホールの舞台づくりは、ボランティアグループの「ビバホールステージオペレータークラブ」が、裏方としてすべてを担っています。クラブには舞台部、アナウンス部、照明部、音響部があり、それぞれが役割を担っています。オペレーター養成講座で基礎を学び、その後は、現場でクラブの先輩方の指導を受けながら専門技術習得し、ビバホールのオペレーターとして活躍しませんか。あなたの夢を叶えてあげたいです。

お問い合わせ先
事務局(養父市民館)
〒679-0001 和歌山県東牟婁郡養父市
☎ 079 664 1141
FAX 079 664 1365

養父市立養父公民館

オペレーター養成講座募集チラシ

(2) 学習成果を活用したボランティア活動等の内容及び推進の方法

養成講座の全課程を受講し修了検定に合格した受講生には、修了証（ホールの機器の使用許可資格）とオペレーターの制服が授与され、ボランティアグループの「ビバホールステージオペレータークラブ」に所属して、先輩オペレーターとともに日常のビバホールの運営を担当する。

ビバホールステージオペレータークラブの活動は、養父市立養父公民館がビバホールの使用を受け付けた時点から始まる。

- ①ホールを使用する主催者と事前の打ち合わせを行う
- ②打ち合わせに基づいたホールの仕込み・準備を行う
- ③リハーサルがある場合は立ち会い、より良いステージづくりに主催者・出演者とともに努力する
- ④当日のホール運営 舞台監督・舞台・照明・音響・アナウンスとしての活動を行う
- ⑤終演後の片付けを行う

これを一つの催しごとに行い、年間約40の催しのオペレーターを行っている。約40回の中には、「やぶ文化祭」の一環である「やぶ芸能祭」のように1ヶ月間をかけて取り組むものもある。市民の学習の発表の場であるやぶ芸能祭には、約40団体が出演する。出演団体との打ち合わせと演出効果の検討、大道具づくり、リハーサル、ゲネプロ、本番と連日連夜の取り組みを行っている。また、ビバホールステージオペレータークラブは、主催者の依頼に基づきステージの演出活動を行っているが、年に一度は自ら主催する事業を行おうと「アマチュアバンドライブ VIVA SOUND SCAPÉ」に取り組んでいる。出場バンドの募集からオーディションの開催、舞台・音響・照明・アナウンスの技術を駆使した演出を行っている。さらには、プロスタッフを講師に迎えた技術研修も行い、技術の向上を図っている。



VIVA SOUND SCAPE



ビバホールチェロコンクール

（3）推進体制等の仕組み

養父市立養父公民館は、ビバホールステージオペレータークラブの活動を支援するが、自主的・主体的な活動を期待している。ビバホールステージオペレータークラブは、ホール運営を任せられている舞台芸術の担い手としての自覚と責任感を持って活動している。ボランティア活動ではあるが、プロ意識を持ち、良い催しになるように努めている。

ビバホールステージオペレータークラブに所属する会員は、職種・年齢とも多種多様な人が集まっており、和気あいあいと楽しく活動に取り組んでいる。真剣勝負のステージと温かな仲間がいる場所として、続々とカップルが誕生し、新しい家庭を築きながら活動を継続している会員がいることは誇りである。

4 成果と今後の取組

市民がホールを運営する取組みは、開館20周年を迎える今日、定着している。また、ビバホールステージオペレータークラブを仕事や家庭の事情で退会したメンバーも、その技術を駆使して村の文化祭を演出するなど、ビバホールに留まらず地域の文化事業の担い手としての活動が広がっている。更には、運営方針のミュージックファーム（音楽農場）に基づき、音楽家の若手を育てる「ビバホールチェロコンクール」を8回開催し、若手チェロ奏者の登竜門として認識されるまでになった。

今後は、ホール運営を担っている「ビバホールステージオペレータークラブ」と「ビバホール企画集団」のNPO法人化を進めることが課題であり、それに向けて検討を重ねているところである。

【執筆者の職・氏名】養父市教育委員会社会教育課 副主幹 藤原 弘幸